第36回「にっぽんの温泉100選」全ランキング

順位	動き	昨年	温泉地	県
1	—	1	草津	群馬
2	—	2	下呂	岐阜
3	↑	4	道後	愛媛
4	↓	3	別府八湯	大分
5	↑	6	登別	北海道
6	↑	8	指宿	鹿児島
7	—	7	有馬	兵庫
8	↓	5	箱根	神奈川
9	—	9	由布院	大分
10	↑	11	城崎	兵庫
11	↑	12	黒川	熊本
12	↓	10	和倉	石川
13	↑	15	伊香保	群馬
14	↓	13	銀山	山形
15	↑	16	玉造	島根
16	↓	14	乳頭温泉郷	秋田
17	↑	20	熱海	静岡
18	—	18	奥飛騨温泉郷	岐阜
19	↑	22	十勝川	北海道
20	↑	30	蔵王	山形
21	↓	19	月岡	新潟
22	↑	40	あわら	福井
23	↑	25	嬉野	佐賀
24	↓	17	鬼怒川・川治	栃木
25	↑	33	白浜	和歌山
26	↑	38	雲仙	長崎
27	↓	24	湯の川	北海道
28	↑	35	秋保	宮城
29	↓	27	万座	群馬
30	↑	31	白骨	長野
31	↑	45	湯田中渋温泉郷	長野
32	↓	29	山中	石川
33	↓	23	霧島	鹿児島
34	↑	36	昼神	長野
35	↓	26	飛騨高山	岐阜
36	↑	79	上諏訪	長野
37	—	37	修善寺	静岡
38	↑	43	層雲峡	北海道
39	↑	41	三朝	鳥取
40	↓	32	山代	石川
41	↑	51	みなかみ18湯	群馬
42	↓	21	鳴子	宮城
43	↓	42	酸ケ湯	青森
44	↓	34	花巻温泉郷	岩手
45	↓	39	定山渓	北海道
46	↑	48	洞爺湖	北海道
47	↓	28	長良川	岐阜
48	↓	43	四万	群馬
49	↓	47	宇奈月	富山
50	↑	55	長門湯本	山口
51	↓	49	稲取	静岡
52	—	52	阿寒湖	北海道
53	↑	73	河口湖	山梨
54	↑	56	野沢	長野
55	↓	46	観音	静岡
56	↑	62	皆生	鳥取
57	↑	59	湯西川	栃木
58	↑	70	伊東	静岡
59	—	59	川湯	北海道
60	↑	70	平磯	北海道
61	↑	82	別所	長野
62	↑	70	湯河原	神奈川
63	↓	58	那須	栃木
64	↑	66	石和	山梨
65	↑	68	湯村	兵庫
66	↓	53	ウトロ	北海道
67	↑	—	美ケ原	長野
68	↑	84	こんぴら	香川
69	↑	81	洲本	兵庫
70	↓	50	塩原	栃木
71	↓	53	高湯	福島
72	↓	63	黄金崎不老ふ死	青森
73	↑	77	かみのやま	山形
74	↓	73	東山	福島
75	↑	ー	榊原	三重
76	↑	99	南紀勝浦	和歌山
77	↓	59	玉川	秋田
	↑	98	西山	山梨
79	↓	64	山鹿・平山	熊本
80	↑	89	ニセコ温泉郷	北海道
81	↑	—	鳥羽温泉郷	三重
82	↑	—	湯田	山口
83	↑	92	日光湯元	栃木
84	—	84	阿蘇温泉郷	熊本
85	↓	56	母畑	福島
86	↑	—	龍神	和歌山
87	↑	95	長湯	大分
88	↑	—	熊野本宮温泉郷	和歌山
89	↑	—	赤湯	山形
90	↑	97	磐梯熱海	福島
	↑	92	下田	静岡
92	↓	65	あつみ	山形
93	↓	79	おごと	滋賀
94	↓	76	祖谷	徳島
95	↑	—	支笏湖	北海道
96	↓	69	原鶴	福岡
97	↓	75	大雪高原	北海道
98	↑	—	杖立	熊本
	↓	84	愛山渓	北海道
100	↓	66	瀬波	新潟

２位を維持した下呂温泉の夜景

３位の道後温泉のシンボル、道後温泉本館

草津温泉（群馬県）が20年連続となる1位に輝いた第36回「にっぽんの温泉100選」＝1面参照。ここでは11位以下の温泉地にスポットを当てて順位の動きをとらえていく。

11～30位は激しい順位争い
蔵王、あわら、白浜がランクアップ

11～30位で5ランク以上の変動を挙げると、上昇が20位の蔵王温泉（山形県、同30位）、22位のあわら温泉（福井県、同40位）、25位の白浜温泉（和歌山県、同33位）、26位の雲仙温泉（長崎県、同38位）、28位の秋保温泉（宮城県、同35位）の5温泉地。一方、5ランク以上の下降は24位の鬼怒川・川治温泉（栃木県、同17位）の1温泉地。11～30位は激しい順位争いが行われたことが分かる。

31～50位の10ランク以上の変動は、上昇が31位の湯田中渋温泉郷（長野県、同45位）、36位の上諏訪温泉（長野県、同79位）、41位のみなかみ18口湖温泉（山梨県、同73位）、61位の別所温泉（長野県、同82位）、67位の美ケ原温泉（長野県、同96位）の原鶴温泉（福岡県、同98位）の6温泉地。一方、下降は70位の塩原温泉（栃木県、同50位）、85位の母畑温泉（福島県、同56位）、92位のあつみ温泉（山形県、同65位）、97位の大雪高原温泉（北海道、同75位）、100位の瀬波温泉（新潟県、同66位）の6温泉地となっている。

ここ数年、「にっぽんの温泉100選」と「人気温泉旅館ホテル250選」のほかに、宿泊施設や温泉地に関して今のトレンドを探る投票も実施している。

今回は「お薦めのバリアフリーの宿」を選んでもらい、投票数から10選を出した。10選に入った宿は、バリアフリーの施設が充実していることに加え、スタッフの対応の良さが評価されていることが大きな特徴だった。

特別企画　お薦めのバリアフリーの宿10選

お薦めのバリアフリーの宿 10選

ホテル天坊（群馬県・伊香保温泉）
車いす貸し出しがあったり、至る所に手すりがあるなど配慮が行き届いている
高齢者へのユニバーサルデザインのコンセプトを掲げ、高齢者でも安心できる

ホテル泉慶・華鳳　※越の里含む（新潟県・月岡温泉）
車いすなど使い手目線の設備が整っている
バリアフリーの設備が充実している

加賀屋（石川県・和倉温泉）
大型旅館だが、施設がバリアフリーに対応している
バリアフリー設備だけでなく接客が最高

グランディア芳泉（福井県・あわら温泉）
館内は至る所にスロープがあり移動しやすい
バリアフリーの設備が充実している

富士レークホテル（山梨県・河口湖温泉）
古くからユニバーサルデザインに取り組んでいて、そのレベルが高い
バリアフリールームの他、浴場やその他エリアまでバリアフリーがされている

ホテル玉之湯（長野県・浅間温泉）
館内全部の車椅子移動が可能。露天ぶろ付きの部屋が広い浴室で介助も楽
バリアフリー対応の部屋があり、ホスピタリティの面でも素晴らしい

十八楼（岐阜県・長良川温泉）
施設が充実している
誰でも安心して利用できるよう、段階的にバリアフリー改修を行っている

青山やまと（静岡県・伊東温泉）
露天風呂付き客室に電動リクライニングベッドがある
源泉かけ流しの露天風呂がついたバリアフリールームがある

ホテルニューアワジ　※夢泉景を含む（兵庫県・洲本温泉）
館内が大きいが導線も分かりやすく案内が丁寧
バリアフリー対応が充実している

なにわ一水（島根県・松江温泉）
バリアフリーを重視した経営方針で、ユニバーサルデザイン賞も受賞している
2021年にユニバーサルデザイン客室もできた